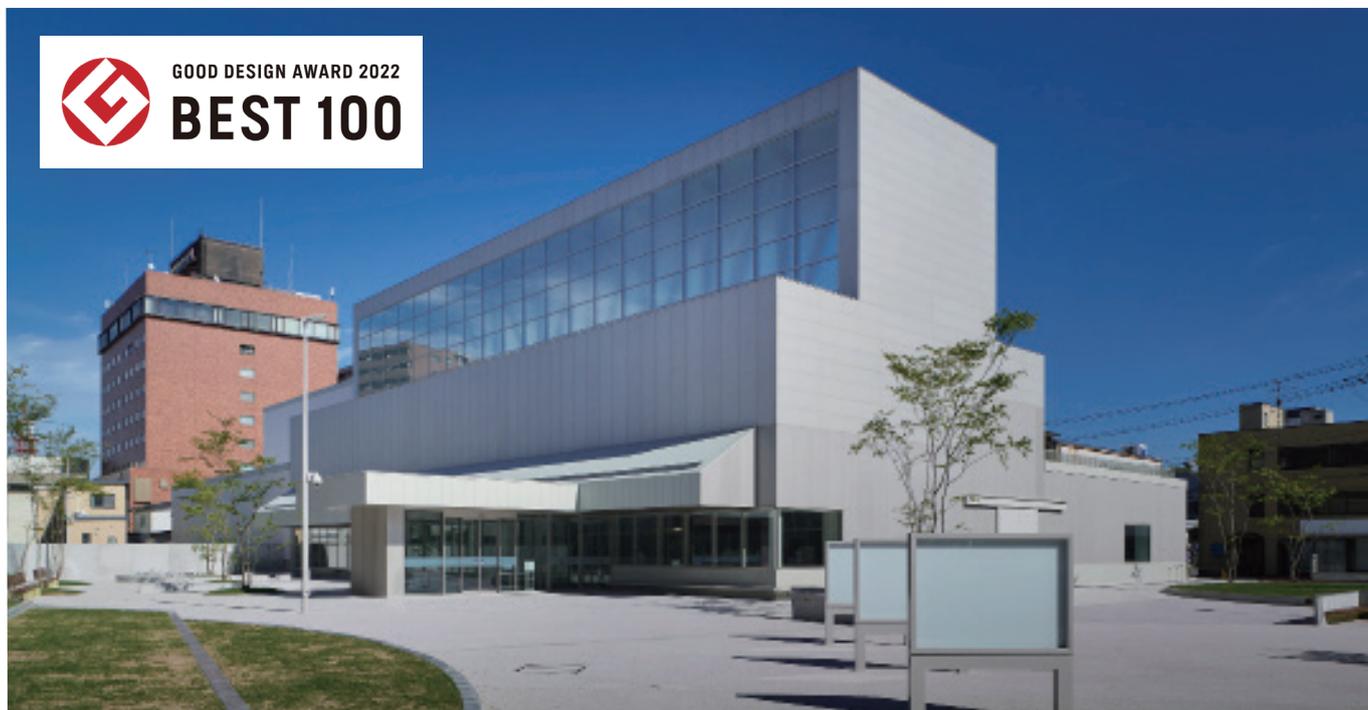


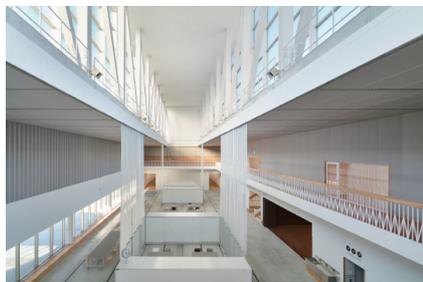
# 八戸市美術館が「グッドデザイン・ベスト100」を受賞



©Daici Ano

## 応募総数 5715 件、受賞 1560 件の中からベスト100 に選出

八戸市美術館は、このたび2022年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞し、さらにグッドデザイン・ベスト100に選出されました。アートを通じた出会いが人を育み、人の成長がまちを創る「出会いと学びのアートファーム」を理念とし、市民の活動の拠点となる新しいタイプの美術館としての整備・運営が高く評価されました。



八戸市美術館ジャイアントルーム ©Daici Ano

## お問い合わせ先

八戸市美術館 031-0031 青森県八戸市大字番町10-4 TEL | 0178-45-8338(代表番号) FAX | 0178-24-4531  
E-mail | [art@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:art@city.hachinohe.aomori.jp) 八戸市美術館公式 HP | <https://hachinohe-art-museum.jp>  
担当者(広報)|大澤、山内



## 受賞概要

|        |  |
|--------|--|
| 受賞対象名  | 美術館 [八戸市美術館]   |
| 事業主体名  | 八戸市  |
| 分類     | 公共の建築・空間   |
| 受賞企業   | 八戸市(青森県)、八戸市美術館(青森県)、株式会社西澤徹夫建築事務所(東京都)、PRINT AND BUILD株式会社(東京都)、株式会社インテロバング(東京都)  |
| 受賞対象概要 | アートを通じた出会いが人を育み、人の成長がまちを創る「出会いと学びのアートファーム」を理念とした美術館。従来の「もの」としての美術展示の空間に加え、「ひと」が活動する空間を大きく確保しています。「ひと」や「もの」が出会い・学びあい、生まれる「もの」「こと」がまた新たな創造を育む、地域における文化創造の土壌を目指します。 |
| 受賞ページ  | <a href="https://www.g-mark.org/award/describe/54221">https://www.g-mark.org/award/describe/54221</a>  |

### 審査委員の評価

あくまでも名称は従来の美術館だが、互いに学び、創作のきっかけとなるラーニングを軸に、地方都市の市民の活動の拠点となる新しいタイプの施設というべきか。そのために設計チームは、膨大なリサーチを経て、ジャイアントルームと専門的な個室群というユニークな空間の形式を提案した。あらかじめアートの関係者と様々な使い方のシミュレーションも徹底的に行なったことも特筆される。八戸市では、これに先立ち、十数年かけて文化施設と関連の事業を充実させてきたが、その要となるであろう美術館は、今後、市民とともに成長していくことが期待されるだろう。

## グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<https://www.g-mark.org/>





# 設計者プロフィール

## 西澤 徹夫(株式会社西澤徹夫建築事務所 代表取締役)

NISHIZAWA Tezzo

1974年京都府生まれ。2000年東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了。青木淳建築計画事務所にて「青森県立美術館」、「ルイヴィトン銀座店」担当。2007年西澤徹夫建築事務所開設。主な作品に「東京国立近代美術館所蔵品ギャラリーリニューアル」(2012年)、「京都市京セラ美術館」(2019年)。「映画をめぐる美術——マルセル・ブロータースから始める」展(2014年)、「Re: play 1972/2015—「映像表現'72」展、再演」展(2015年)(以上東京国立近代美術館)、「今和次郎 採集講義」展(2009年、パナソニック汐留ミュージアム、青森県立美術館)、「シンコペーション：世紀の巨匠たちと現代アート」展(2019年、ポーラ美術館)、ほか展覧会会場デザイン多数。2020年京都建築賞、AACA最優秀賞、第62回毎日芸術賞、優秀建築選2020JIA日本建築大賞、2021年日本建築学会賞(作品)受賞。

## 浅子 佳英(PRINT AND BUILD株式会社 代表)

ASACO Yoshihide

1972年兵庫県神戸市生まれ。建築家、編集者。2010年東浩紀とともにコンテクチュアズ(現ゲンロン)設立、2012年退社。2007年タカバネスタジオ設立。2021年出版機能を追加し株式会社PRINT AND BUILD創立。第一弾として『デザインの現在 コンテンポラリーデザイン・インタビューズ』(土田貴宏著)出版。建築作品に「gray」(2015年)など。主な論考に「コム・デ・ギャルソンのインテリアデザイン」『思想地図β Vol.1』(2010年)。共著に『レム・コールハースは何を変えたのか』(2014年)など。商業空間を通じた都市のリサーチとデザインを得意とし、街中のショップをリサーチする「TOKYO インテリアツアー」、都市をリサーチした展覧会「TOKYO デザインテン」、公共空間のリサーチ「パブリック・トイレのゆくえ」(2017年～)の企画監修などを行う。

## 森 純平(株式会社インテロバング 代表取締役)

MORI Junpei

1985年マレーシア生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻修了。在学時より建築から時間を考え続け、舞台美術、展示、まちづくりなど、状況を生み出す現場に身を置き続ける。2013年より千葉県松戸を拠点にアーティスト・イン・レジデンス「PARADISE AIR」を設立。世界のアーティストが街に滞在している。主な活動に遠野オフキャンパス(2015年～)、東京藝術大学美術学部建築科助教(2017年～)。「たいけん美じゅつ場 VIVA」設計/ディレクター(2019年～)。



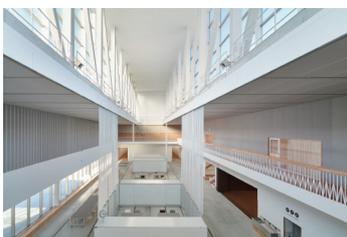
左から西澤徹夫、浅子佳英、森純平



# 広報用画像



a



b



c



d

a,b,c 阿野太一 または Daici Ano  
d クレジット不要

広報用画像をご希望の方は、【1. 会社名 / 組織名、2. 媒体名・媒体の種類(雑誌、テレビ、webなど)、3. ご担当者名、4. ご連絡先、5. 掲載／放送予定日、6. 画像到着希望日、7. ご希望の写真が掲載されているプレスリリースの発行日、8. ご希望の写真記号】をメール、または FAX に明示の上、下記、お問い合わせ先までご連絡ください。

## [画像の貸出条件]

- 画像は本企画・美術館の紹介の目的のみにお使いいただけます。
- 画像データは第三者へ譲渡せず、使用后すみやかに消去してください。
- 画像のトリミングについては事前にご相談ください。
- 作品画像の上に図や文字を重ねることはできません。
- 画像を掲載、放送する際には、指定のクレジット表記を必ずいれてください。
- 画像を掲載、放送する前に、ゲラ等掲載案をお送りください。担当者が確認します。
- 新聞紙、雑誌、書籍等の印刷物に画像を使用する際は、八戸市美術館に1部ご寄贈ください。

## お問い合わせ先

八戸市美術館 031-0031 青森県八戸市大字番町10-4 TEL | 0178-45-8338(代表番号) FAX | 0178-24-4531  
E-mail | art@city.hachinohe.aomori.jp 八戸市美術館公式 HP | <https://hachinohe-art-museum.jp>  
担当者(広報)|大澤、山内